



DRYFAN

JB37315(00/01) 

取付説明書

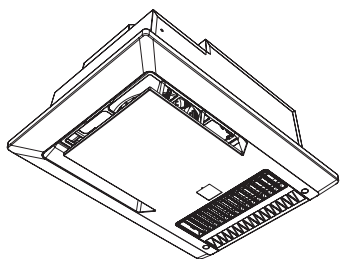
販売事業者さま・取付業者さま・工事業者さま用

循環暖房機

特定保守製品

BRS-C100

AC100V専用



1	安全のために必ずお守りください	1
2	気をつけていただきたいこと	2
3	梱包内容と各部の名称・寸法	3
4	取付前の準備	4
5	本体取付	5
6	電気工事	8
7	点検と試運転	12
8	取付確認チェックシート	13
9	機器交換時、特に注意していただきたいこと	14

本製品について、知っておいていただきたいこと

本製品は、消費生活用製品安全法(消安法)で定められる「特定保守製品」です。本製品に同梱されている「所有者票」等(消安法に関する説明資料、所有者票)は消安法に定められる販売事業者さまがお客さまに説明する事項等が記載されています。必ず販売事業者さまにお渡しください。

特定保守製品

法定点検が必要な製品です。



特定保守製品の
登録と点検を

- 本製品は、AC100V専用です。
- 最大消費電力は1250Wです。本機単独で20Aの専用回路にしてください。また、途中でスイッチを設けないでください。
- 電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規程にしたがって必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。
- アースをD種接地工事に基づいて確実に取付け、漏電遮断器を設置してください。
- 電線類など、現場調達部材が必要です。
- 本製品は、本体を天井面の下から取付ける方式〈天井埋込型〉です。
- 浴室の天井に取付用開口部(410±3×285±3mm)が必要です。

各工程の取付業者さま



- 次工程の取付業者さまに本説明書を確実にお渡しください。
- 各取付作業完了後、P.13のチェックシートご担当分を必ずご確認ください。









1 安全のために必ずお守りください








- 取付けはこの取付説明書に従って確実に行ってください。(火災、感電のおそれがあります。)
- この項に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 表示の意味は次のとおりになっています。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	注意 人が軽傷を負う可能性、及び物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。
--	--

- 図記号の意味は次のとおりになっています。

 「 禁止 」 を表します	 「 分解禁止 」 を表します	 「 必ず行うこと 」 を表します	 「アースをD種接地工事に 基づいて必ず接続すること」 を表します
--	--	---	--

警告	
 AC100V以外はつながない 火災・感電・故障のおそれがあります。 (AC200Vをつなぐと基板が故障します。) <small>使用禁止</small>	 内釜式風呂を設置した浴室では使用しない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を 起こすおそれがあります。 <small>使用禁止</small>
 最大消費電力は1250Wです。本機単独で 20Aの専用回路にする。また途中にスイッチ を設けない 誤った配線工事は火災・感電・故障のおそれ があります。 <small>取付注意</small>	 吹き付け式の断熱材は使用しない 火災、故障のおそれがあります。 <small>使用禁止</small>
 電気工事は電気設備技術基準、内線規程 など関連する法令・規程にしたがって 必ず電気工事士の資格を有する者が適切な 方法で行う 無資格者の工事や、電気工事士による 不適切な工事は、火災や漏電を引き起こす おそれがあるほか、関係法令により処罰等 されることがあります。 <small>取付注意</small>	 改造は行わない。また、修理技術者以外の人は、 分解したり修理をしない 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売事業者さま、または 当社へご相談ください。 <small>分解禁止</small>
 アースをD種接地工事に基づいて確実に 取付け、漏電遮断器を設置する 漏電、故障のときに感電するおそれがあります。 <small>アース接続</small>	 電源線などの各配線に、以下のことをしない ・傷つける ・無理に曲げる ・無理な力を加える ・束ねる ・重いものを載せる ・挟み込む 火災・漏電・故障のおそれがあります。 <small>禁止</small>
	 温泉など腐食しやすいガスが出る場所、異常に 高温になる場所などでの設置はしない 火災、感電、故障のおそれがあります。 <small>禁止</small>

注意	
 電源電線の接続は確実に 行う 接続部が過熱して発火のおそれがあります。 <small>取付注意</small>	 部品の取付けは確実に 行う 落下により、けがをするおそれがあります。 <small>取付注意</small>
 本体やリモコンを洗淨したり、雨ざらしにしない 火災・感電・故障のおそれがあります。 <small>禁止</small>	 リモコンは、浴室の外に取付ける 感電のおそれがあります。 <small>取付注意</small>
 取付作業時には必ず手袋をはめる けがをするおそれがあります。 <small>必ず守る</small>	 水平な天井面以外への設置は行わない 性能が低下するおそれがあります。 <small>禁止</small>
 本製品の重量は約5.3kgあります。本体取付工事は十分強度が得られるよう補強材などを取付け、 確実に 行う 落下により、けがをするおそれがあります。 <small>取扱注意</small>	

2 気をつけていただきたいこと

●この循環暖房機は、浴室天井取付け専用です。

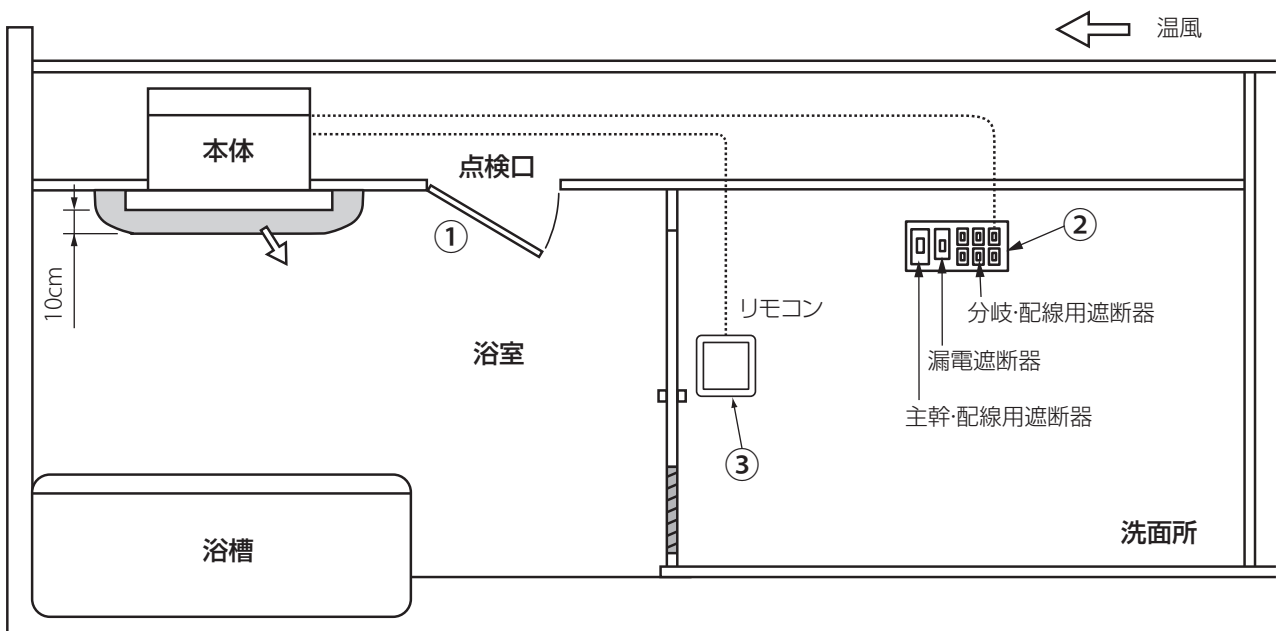
本製品は消防法基準適合品です。(一般社団法人 日本電機工業会で定める「組み込み型等の浴室衣類乾燥機の自主試験基準」に準じた試験を実施しています。)本製品の取付けにあたっては、地域により防災上の規制がありますので、ご不明な点は、行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。

- ・ 機器本体(本暖房機の場合は天井裏側)は、可燃物との距離は開ける必要はありません。ただし、機器本体の点検のため防露材(断熱材、保温材)で覆わないでください。
- ・ 機器は階上スラブや天井などに強固に取付けてください。
- ・ 温風吹出口および空気吸込口の前方10cm未満の範囲内に造営材などを設けないでください。
- ・ 一次側に漏電遮断器を設け、機器本体のアース端子に規定のアース線を確実に接続してください。

■ご注意

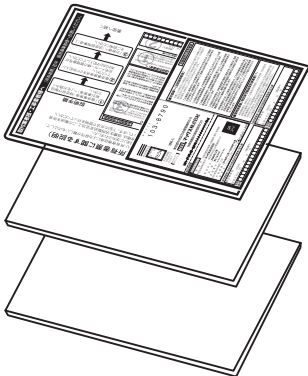
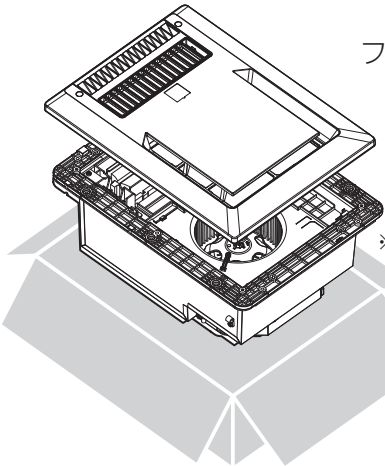
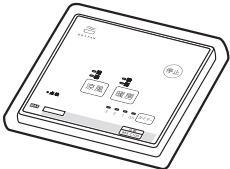
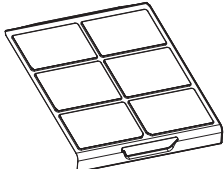




「1 安全のために必ずお守りください」の項をよくお読みいただき、さらに次の事項をあわせてお守りください。

- ① 機器本体に近接する部分に、機器本体の点検・清掃に必要な点検口を設けてください。
- ② 電源は専用の配線用遮断器(安全ブレーカー20A)から配線し、途中にスイッチを設けないでください。
- ③ リモコンは、必ず浴室外に取付けてください。決して浴室内に取付けないでください。故障のおそれがあります。

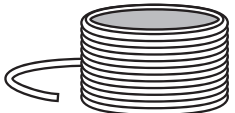
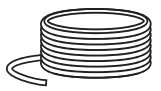
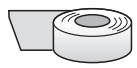
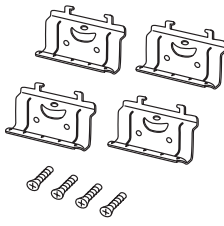
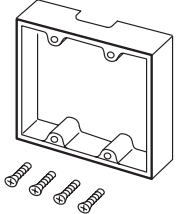


3 梱包内容と各部の名称・寸法

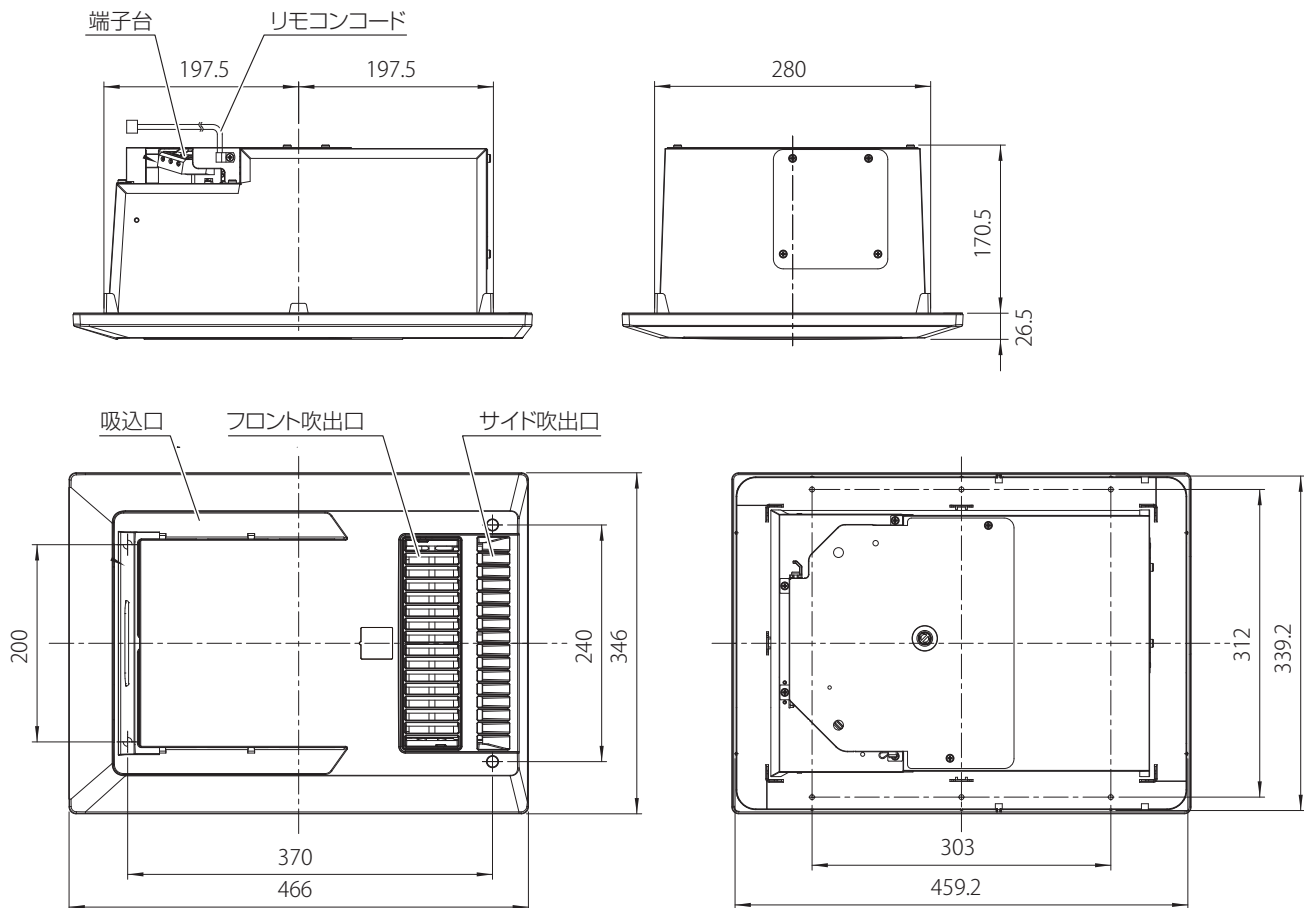
■梱包内容

<p>所有者票セット……………1セット ※必ず販売事業者さまにお渡し ください。</p>		 <p>フロントパネル</p> <p>本 体</p> <p>※リモコンコード (5m)付き</p> <p>梱包材</p>	フロントパネル
<p>取扱説明書……………1冊 ※必ずお客さまにお渡しください。</p>			本 体
<p>取付説明書……………1冊 この取付説明書を表します。 ※必ず次工程の取付業者さまに お渡しください。</p>			※リモコンコード (5m)付き
<p>コードクランプセット(電源電線固定用)… 1セット ※本体背面2ヶ所に貼付されています。</p>			
<p>リモコン …………… 1個</p>		<p>フィルター(ネット) …………… 1個</p>	
<p>付属品</p>			
<p>+トラスタッピンねじ 4×45 (本体取付用) …………… 6本</p>		<p>+トラスタッピンねじ 4×14 (フロントパネル取付用)… 4本</p>	
<p>+皿タッピンねじ 4×35 (リモコン取付用)…………… 4本</p>		<p>ねじ穴カバー (フロントパネル用)…………… 4個</p>	

■現場調達部材

	<p>電線(銅/単線φ1.6mm またはφ2.0mm)</p>	<p>以下はリモコンの取付方法に準じて準備してください。</p>			
	<p>アース線 (ビニール銅線/φ1.6mm)</p>			<p>はさみ金具と 取付用ねじ</p>	<p>スイッチボックス (JIS2連)と 取付用ねじ</p>
	<p>絶縁テープ</p>				

■本体外形寸法図 (単位：mm)




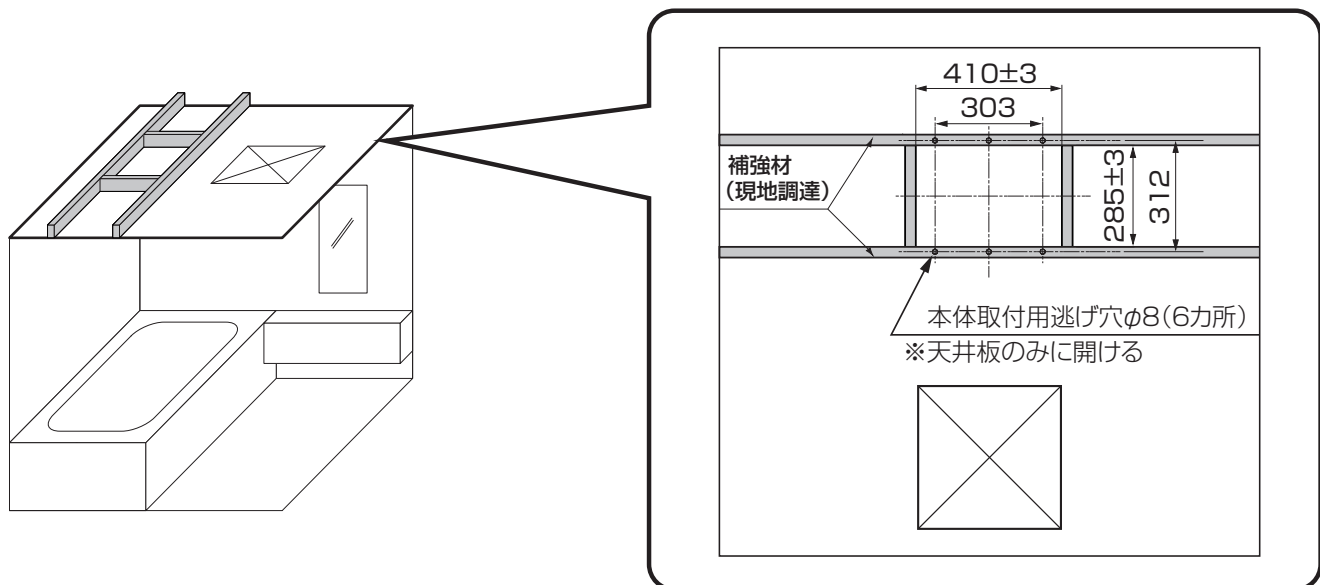
4 取付前の準備 [浴室の天井板に $410\pm 3\times 285\pm 3$ mmの開口部を設けてください。]

■循環暖房機の取付位置は、図の位置が推奨位置となります。浴室・建物の構造条件に応じて取付方向・位置をご検討ください。

1 $410\pm 3\times 285\pm 3$ mmの開口部を設ける。

2 補強材(図の  部分)を設ける。

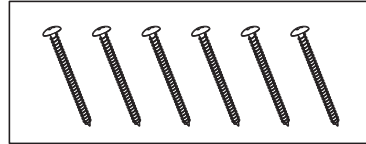
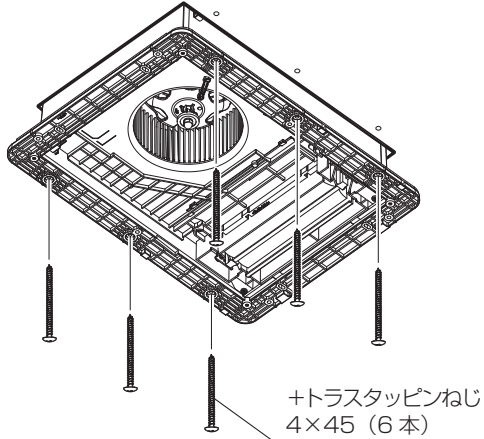
- ・  部分に補強材を設けてください。 ※補強材は現地調達してください。
- ・ 浴室天井板に本体取付用逃げ穴($\phi 8$)6か所を必ず開けてください。



5 本体取付

1. 本体の取付け

本体を開口部に差込み、付属の+トラスタッピンねじ 4×45（本体取付用）6本で取付けてください。



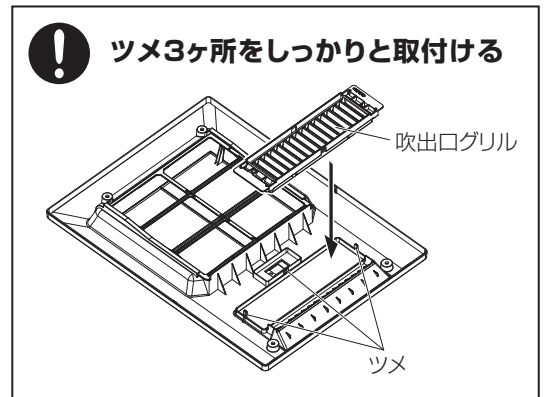
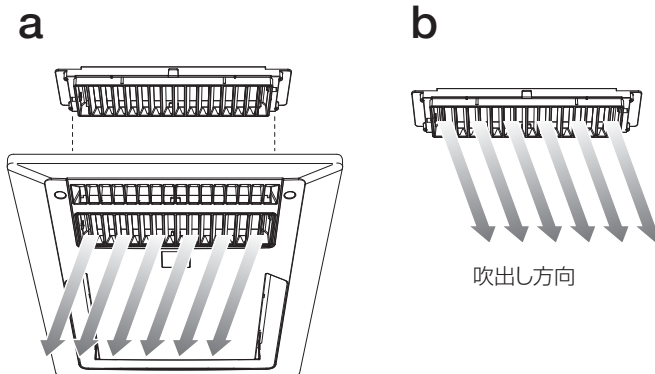
⚠ 注意

- リモコンコードを挟み込まないよう注意し、取付ける
- 本体への異物や埃等の混入に注意する
- 付属のねじ（防食加工ねじ）以外は使用しない

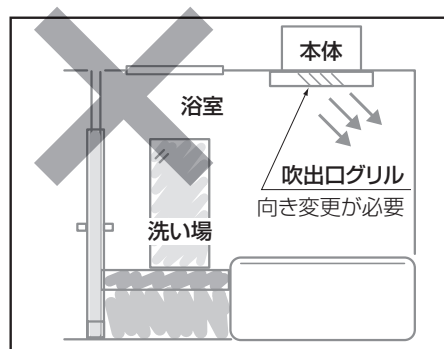
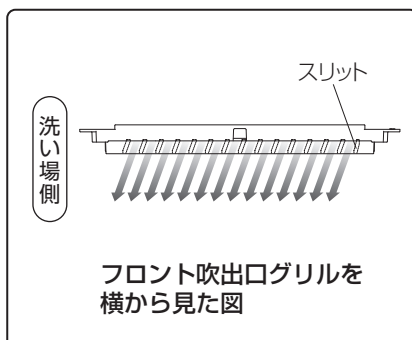
2. フロントパネルの取付け

① 吹出口グリルの確認

初期出荷状態では吹出口グリルが **a** の向きになっています。 **b** のように向きを変えて取付けることができます。吹出し方向が壁側に向いている場合、洗い場側に向くように吹出口グリルを取付け直してください。



⚠ 洗い場側を向いていない場合、吹出口グリルを取付け直す

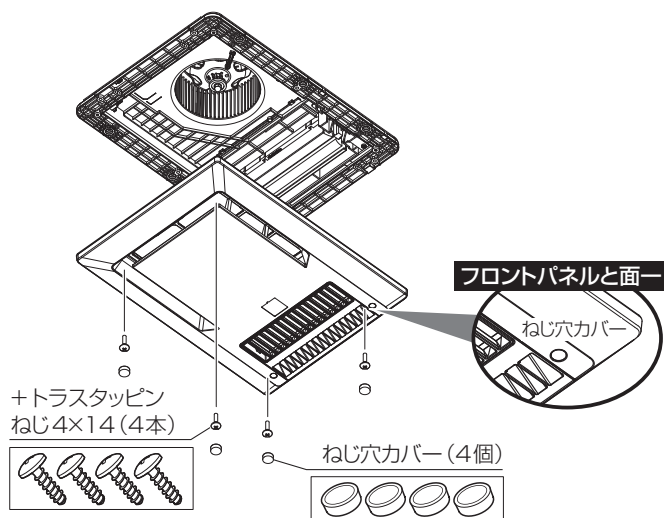


⚠ 注意

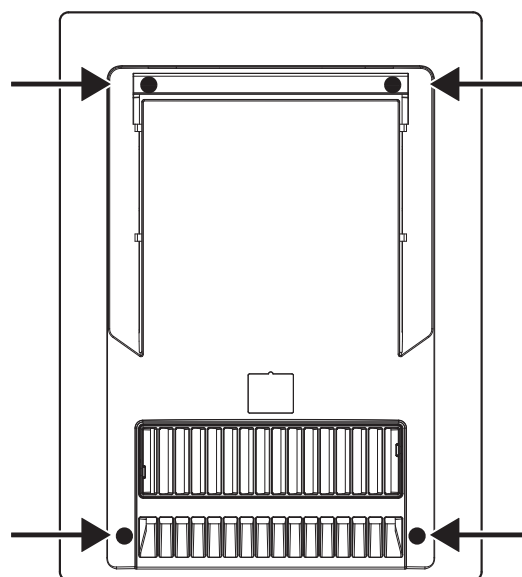
- パネル内部に異物や埃等がないか確認する
- 無理な力で取外さない
破損やケガのおそれがあります。

2 フロントパネル取付け

1. フロントパネルを付属の+トラスタッピンねじ4×14（フロントパネル取付用）4本で取付けてください。
2. ねじの頭をかくすため、付属のねじ穴カバー4個をはめます。ねじ穴カバーはフロントパネルと面一となる位置まで押し込んでください。



! フロントパネルは付属のねじ4本で確実に固定し、付属のねじ穴カバー4個を必ず取付ける



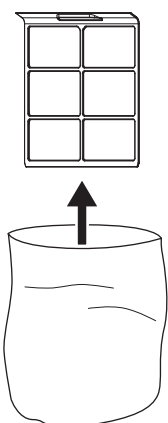
⚠ 注意

- ねじの締めすぎ等によるフロントパネルの破損に注意する
- ねじ穴カバーを必ず取付ける
- ねじ穴カバーを押し込みすぎた場合は、ピンセット等の先端が細いもので再度、取付け直す
- ねじの締め付けトルクは2～2.5Nm（20～25kgcm）とする

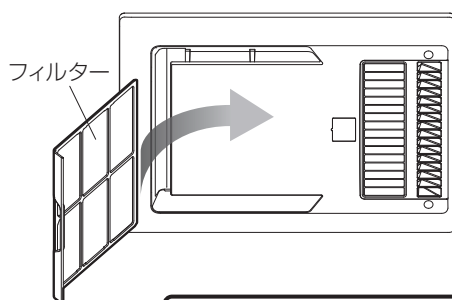
3 フィルターの取付け

1. フロントパネルの固定後、付属のフィルターをポリ袋から取り出してください。
2. フィルターをフロントパネルに取付けてください。

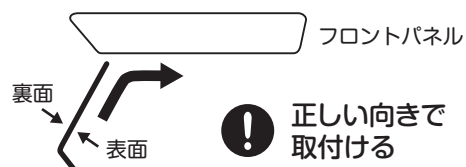
ポリ袋から取出す



フィルターを取付ける



フィルターには表面、裏面があります。下図を参照し、正しい向きで取付けてください。



⚠ 注意

フィルターは正しい向きで取付ける
フィルターには表面・裏面があり、誤った向きで取付けを行うと奥まで入りません。また、無理な力で押し込むと、破損するおそれがあります。

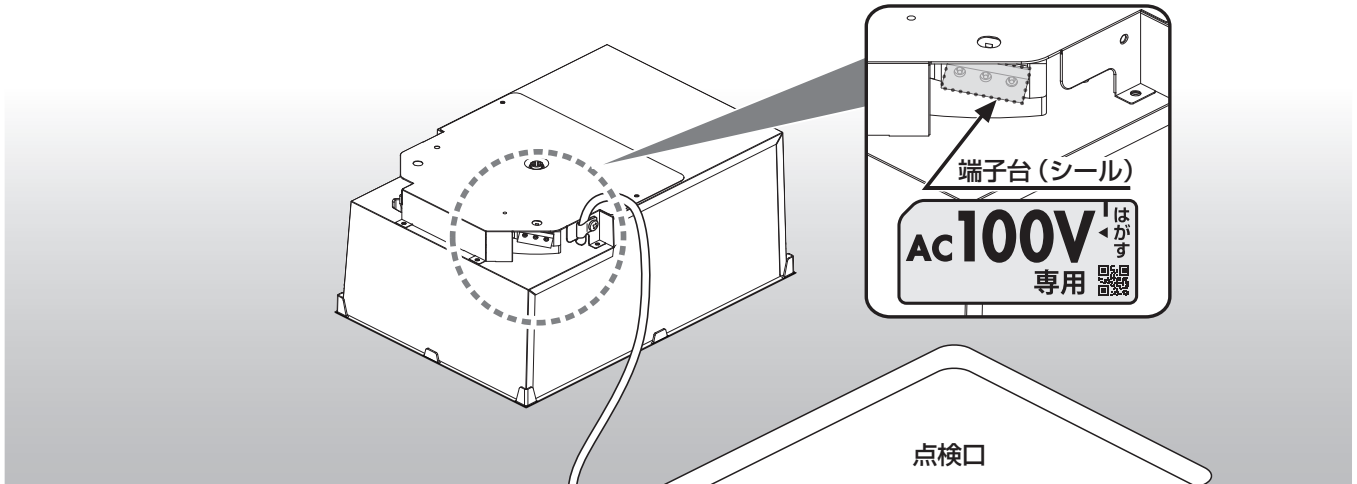
5 本体取付 (つづき)

3. 端子台の確認

点検口から端子台が見えるか確認します。

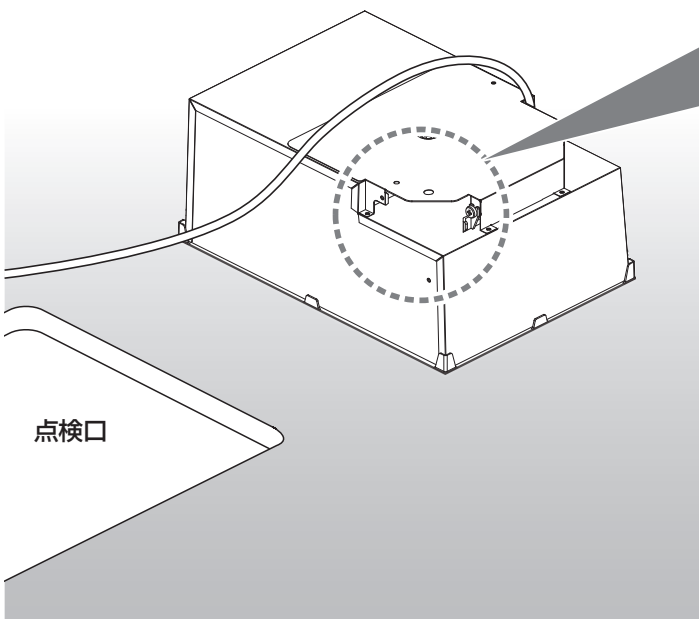
端子台が見える場合

P.8の **6 電気工事** へ進んでください。

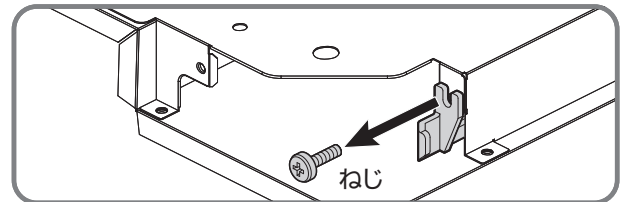


端子台が見えない場合

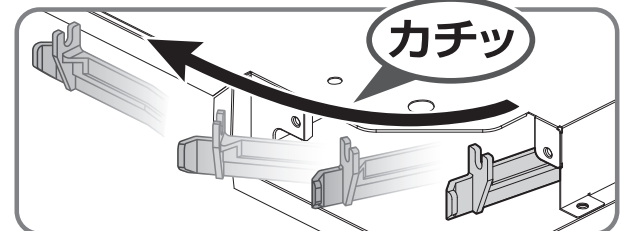
端子台を点検口から見える位置に動かします。
右図の手順で端子台を移動してください。



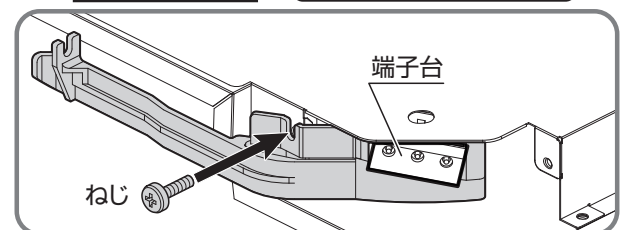
① ねじを外す



② 端子台を手前にスライド



③ ねじで固定 **!** 必ず固定する



電気工事は別途工事となります。

この取付説明書を必ず次工程の取付け業者さまにお渡してください。

6 電気工事

※端子台は可動式です。端子台を必ず点検口側に移動して、AC100V を接続してください。

警告

- 電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定にしたがって必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行う無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電を引き起こすおそれがあるほか、関係法令により処罰等されることがあります。
 - 電力会社との契約電気容量が不足している場合は、追加工事を行う
 - 電気工事は必ず分電盤の循環暖房機のブレーカーを切って行う
 - 最大消費電力は1250Wです。本機単独で20Aの専用回路にする。また途中にスイッチを設けない。誤った配線工事は火災・感電・故障のおそれがあります。
- アースをD種接地工事に基づいて確実に取付け、漏電遮断器を設置する
漏電や故障のときに感電するおそれがあります。
- AC100V以外はつながらない 火災・感電・故障のおそれがあります。
 - 電源線などの各配線に、以下のことをしない 火災・漏電・故障のおそれがあります。
 - 傷つける
 - 無理に曲げる
 - 無理な力を加える
 - 束ねる
 - 重いものを載せる
 - 挟み込む

注意

- リモコンは浴室の外に取付ける 感電のおそれがあります。

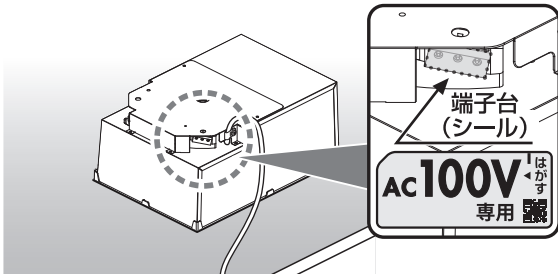
1. 電気配線工事

1 端子台の確認

点検口から端子台が見えるか確認します。

端子台が見える場合

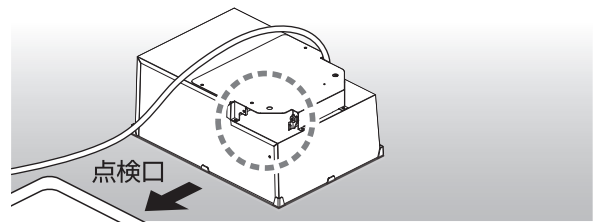
シールをはがし、2 電源電線の加工 へ進んでください。



端子台が見えない場合

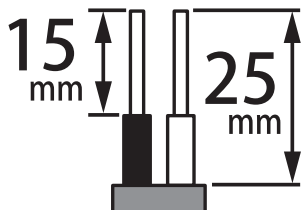
この向きの場合

P.7「3. 端子台の確認」を参照し、移動させてください。



2 電源電線の加工

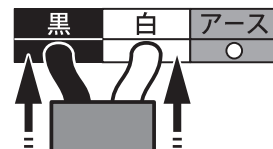
電源端子台まで配線用遮断器（単相 AC100V）から電源電線（銅 / 単線φ1.6mm またはφ2.0mm）を配線し、先端を以下のように加工してください。



※メンテナンスの際、本体を容易に取外せるように、電源電線は本体付近で2m くらいの余裕をとるように配線してください。
※φ1.6mm またはφ2.0mm の単線専用です。より線は接触不良により発熱のおそれがあるため絶対に使用しないでください。

3 電源電線の接続

端子穴に心線を「ぐっ」と奥まで心線が見えないように確実に差込んでください。



心線が見えないように

注意

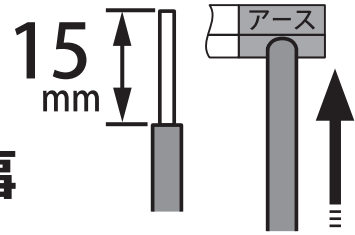
発火のおそれあり。
電源電線の接続は確実に行う

6 電気工事 (つづき)

4 アース工事

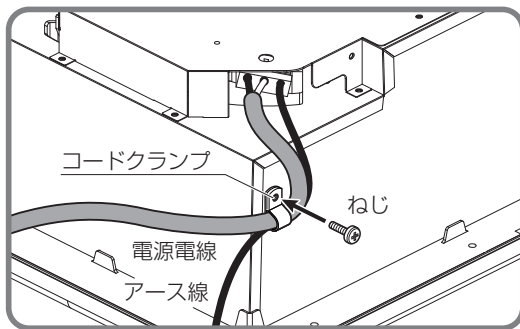
電源端子台にアース端子またはアース棒よりアース線 (ビニール銅線: $\phi 1.6\text{mm}$) で結線してください。

D種接地工事



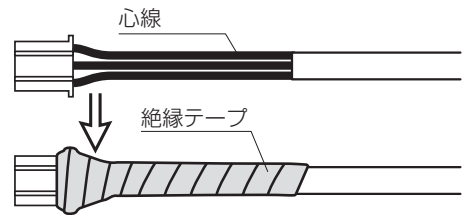
5 電源電線の固定

本体に貼付しているコードクランプセット (コードクランプとねじ) で電源電線とアース線を本体側面に固定してください。



6 リモコンコードの配線

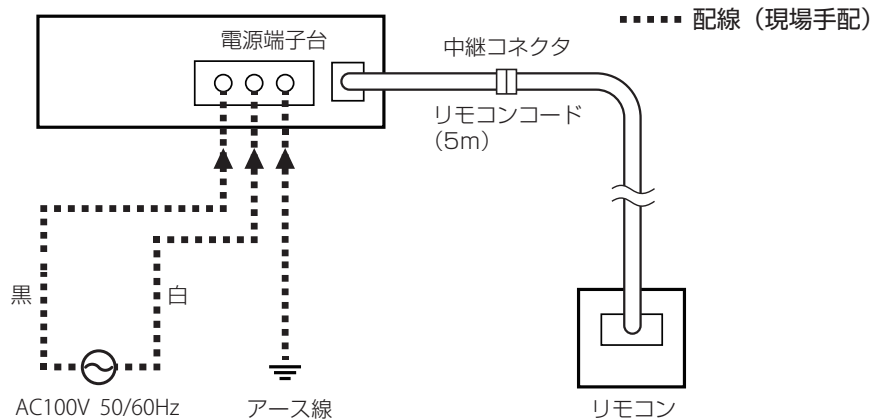
リモコンコードをリモコン取付位置まで配線してください。



配線時リモコンコード先端のコネクタを絶縁テープ (現場調達) 等で保護し、コードの心線、コネクタ接続部に無理がかからないように注意してください。

結線図

- (注) 接地側の白線は電源端子台の中央の穴に差込んでください。
- (注) ブレーカーを入れる前に必ず指定電圧「AC100V」が接続されていることを確認してください。



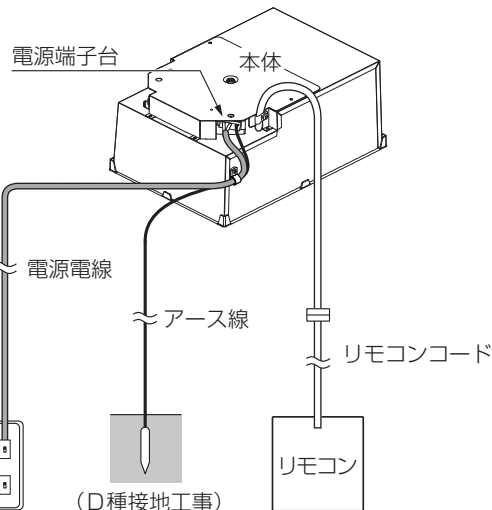
完成図

分岐・配線用遮断器 (安全ブレーカー 20A)

漏電遮断器

主幹・配線用遮断器

分電盤



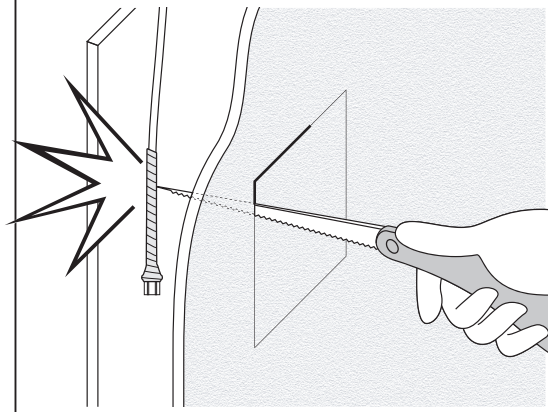
2. リモコン取付

⚠ 注意

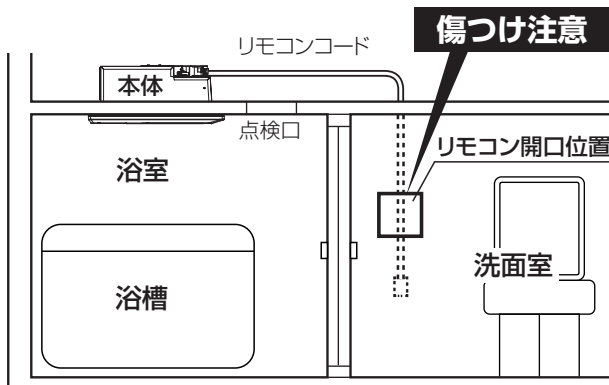
- リモコン開口位置の壁裏にリモコンコードがないことを確認してから開口作業を行う
- リモコンコードがある場合は、リモコンコードをリモコン開口位置から離れた位置にずらす
- 壁裏のリモコンコードを動かすことが困難な場合、穴あけ用具で傷つけないよう十分注意して開口作業を行う
開口作業時に、壁裏にあるリモコンコードを切断するおそれがあります。

壁裏のリモコンコードを動かすことが困難な場合

傷つけ注意 穴あけ用具で傷つけないよう十分注意して開口作業を行う



取付注意



- コネクタを図1のように、しっかりと奥まで差込む 図2のように、奥まで差込まれていないと、作動しない場合があります。
- コネクタを取付けた後、図3のように、コネクタが外れないことを確認する
- 確認の際、コードを引っばらない 断線のおそれがあります



取付注意

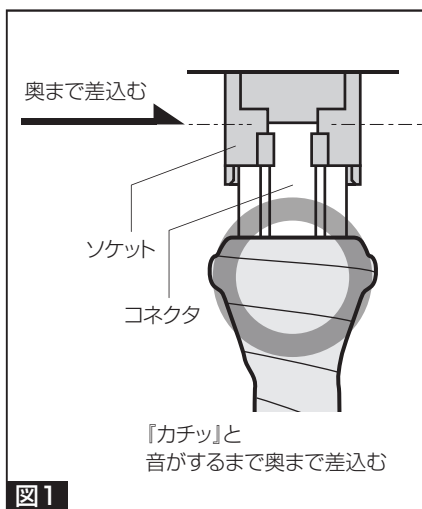


図1

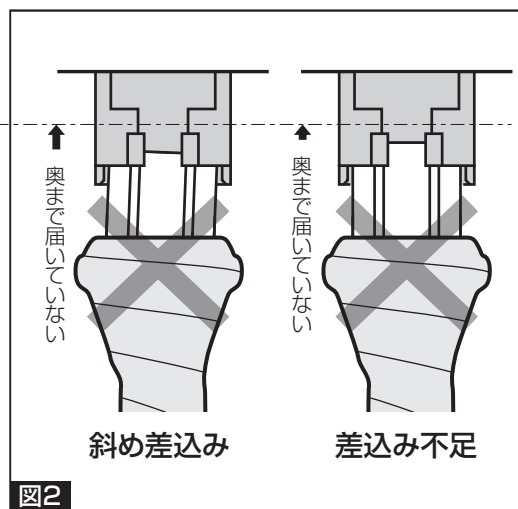


図2

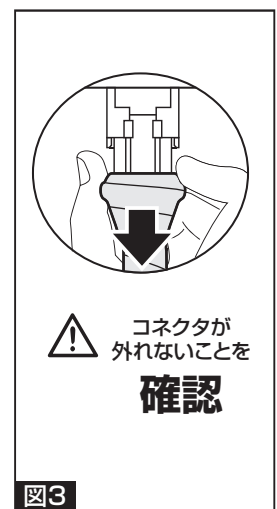


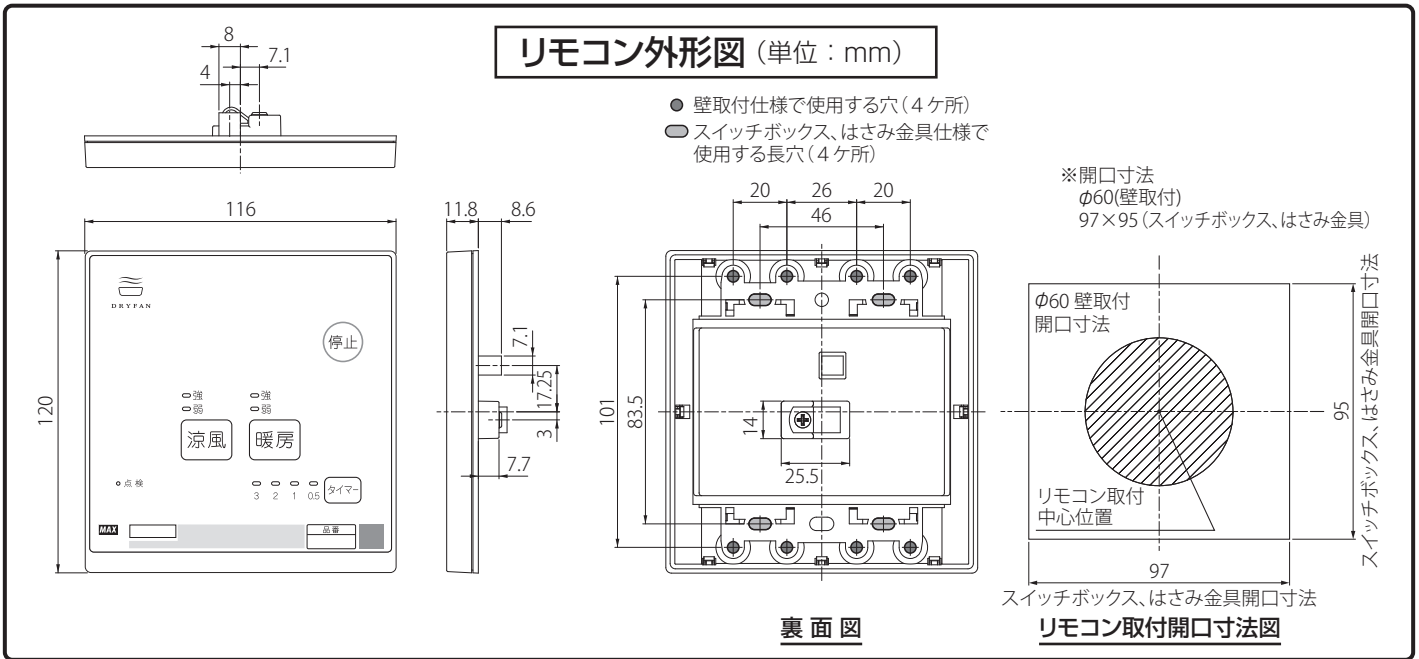
図3



取付注意

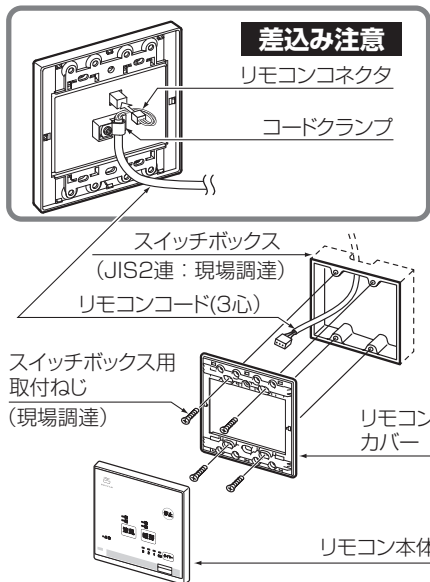
- リモコンはお客さまと打ち合わせて、操作に便利な位置に取付ける
- リモコンは洗面脱衣室など、必ず浴室外に取付ける 防水構造になっていないので、浴室には取付けしないでください。
- リモコンと本体は5mコードで接続する リモコンコードは本体に接続されています。壁にリモコンコードを通線する時は、先端のコネクタ、接続電線部分を保護して作業を行なってください。
- 通線の途中でリモコンコードが尖ったものへ接触したり、こすれたりしないように取付ける 断線や故障のおそれがあります。

6 電気工事 (つづき)



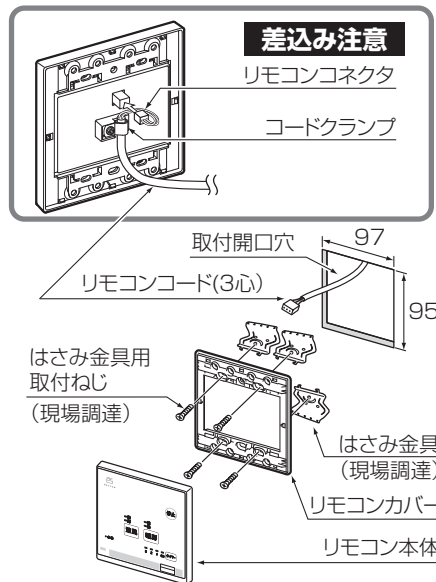
イ.スイッチボックスを使用する場合

- ①取付場所に事前にスイッチボックス(JIS2連:現場調達)を取付けておいてください。
- ②リモコンカバーを取外してください。
- ③スイッチボックス用取付ねじ(現場調達)4本でリモコンカバーをスイッチボックスに取付けてください。
ねじは締めすぎないように注意してください。
- ④リモコン裏のソケット(3P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差込んでください。差込みが不完全な場合、故障や誤動作のおそれがあります。
- ⑤リモコンコードをコードクランプで固定してください。
- ⑥リモコン本体を元通りに取付けてください。



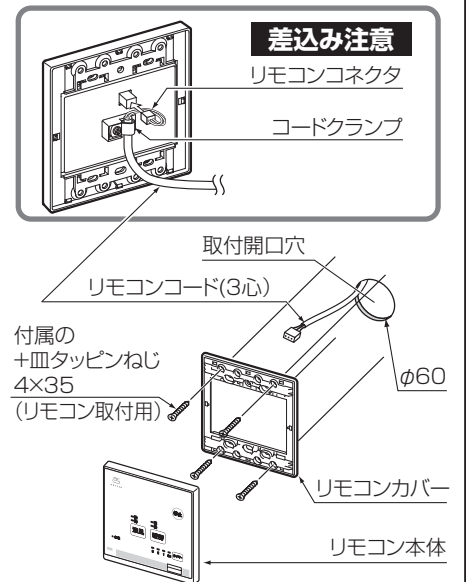
ロ.市販のはさみ金具を使用する場合

- ①取付場所に穴(97×95mm)を開けてください。
穴を開けるとき、リモコンコードを断線しないように注意してください。
- ②リモコンカバーを取外してください。
- ③リモコン裏のソケット(3P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差込んでください。差込みが不完全な場合、故障や誤動作のおそれがあります。
- ④リモコンコードをコードクランプで固定してください。
- ⑤各はさみ金具(現場調達)の取付方法で取付けてください。
ねじは締めすぎないように注意してください。
- ⑥リモコン本体を元通りに取付けてください。



ハ.壁へ直接取付ける場合

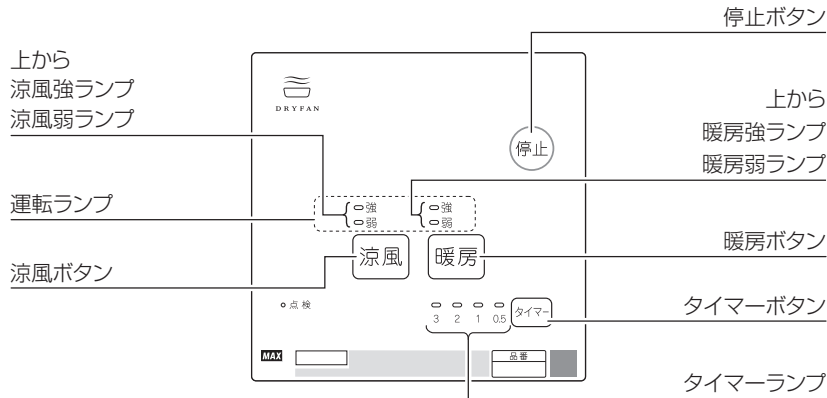
- ねじが効きにくい壁には、事前に裏補強するか、カールプラグなどを使用してください。
- ①取付場所に穴(φ60mm)を開けてください。
穴を開けるとき、リモコンコードを断線しないように注意してください。
 - ②リモコンカバーを取外してください。
 - ③リモコン裏のソケット(3P)にリモコンコード先端のコネクタを確実に差込んでください。差込みが不完全な場合、故障や誤動作のおそれがあります。
 - ④リモコンコードをコードクランプで固定してください。
 - ⑤付属の+皿タッピンねじ4×35(リモコン取付用)4本でリモコンカバーを壁に取付けてください。
ねじは締めすぎないように注意してください。
 - ⑥リモコン本体を元通りに取付けてください。



7 点検と試運転

点 検

- ① P.13の『取付確認チェックシート』は行いましたか？
- ② 本体とリモコンが確実に取付けられていますか？
- ③ リモコンコードが確実に接続されていますか？
- ④ 最初の項目の『安全のために必ずお守りください』が守られていますか？



試 運 転

※くわしい使用方法是取扱説明書を参照してください。

1. 電源の投入

分電盤の循環暖房機専用ブレーカーを入れてください。
リモコンの全運転ランプが点滅します。

2. 涼風モードの確認

涼風ボタンを押してください。
涼風強ランプが点灯し、フロント／サイド吹出口から風(室温)が出てくることを手で確認してください。
再度涼風ボタンを押してください。
涼風弱ランプが点灯することを確認してください。
停止ボタンを押してください。
涼風弱ランプが消灯し、涼風運転が停止したことを確認してください。

3. 暖房モードの確認

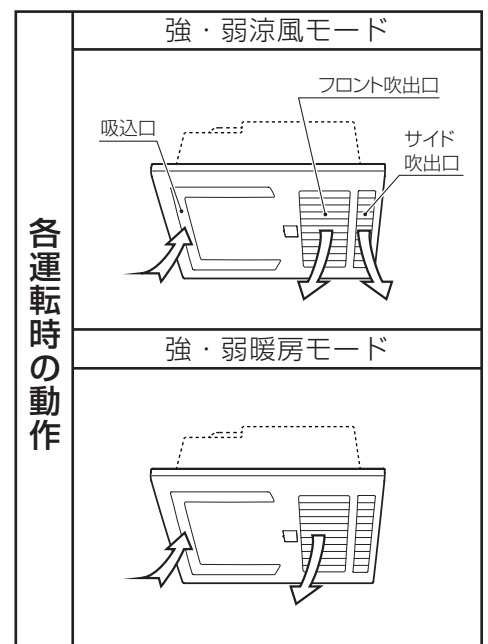
暖房ボタンを押してください。
暖房強ランプが点灯し、フロント吹出口から温風が出てくることを手で確認してください。
再度暖房ボタンを押してください。
暖房弱ランプが点灯し、フロント吹出口からの風量が減少したことを確認してください。
停止ボタンを押してください。
暖房弱ランプが消灯し、暖房運転が停止したことを確認してください。

4. 電源の切断

循環暖房機専用のブレーカーを切り、動作が停止していることを確認して試運転を終了してください。

5. 動作確認完了後のお客さまへの説明

動作確認完了後、同梱の取扱説明書に沿ってお客さまに使用方法、お手入れのしかたを説明してください。



※デザインはイラストと異なる場合があります。

不具合が生じた場合、点検の内容を再確認してください。

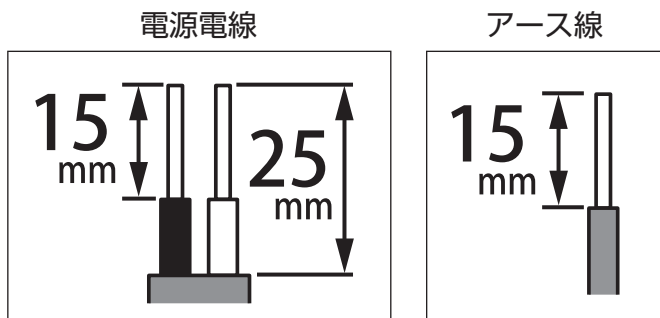
不具合が修正できない場合は、マックス 技術相談窓口 **03-5623-4612** までご連絡ください。

8 取付確認チェックシート

項目	内容	参照ページ	チェック欄
本体取付	端子台は点検口側を向いていますか？	P 7	
	端子台固定ねじは確実に取付けられていますか？ ※端子台をスライドさせた場合	P 7	
	吹出し方向が洗い場を向いていますか？	P 5	
	フロントパネルは、ねじ4本で固定されていますか？	P 6	
	ねじ穴カバーは取付けられていますか？	P 6	
	フィルターは取付けられていますか？	P 6	
電気工事	電源電線はAC100Vに接続されていますか？	P 9	
	電源電線は電源端子台の指定の位置に心線が見えないように接続されていますか？	P 9	
	D種接地工事によるアース線が接続されていますか？	P 9	
	電源電線とアース線が本体側面に固定されていますか？	P 9	
	漏電遮断器は取付いていますか？	P 9	
運 転	各種運転は確実に行われていますか？	P 12	

9 機器交換時、特に注意していただきたいこと

- ・ 本体取付方法が変わる場合がありますが、性能上問題ありません。(天吊 ⇄ 直付け)
※ 本取付説明書の記載内容に準拠し取付けた場合に限りです。
- ・ リモコンコードは必ず新しいものと交換してください。
- ・ 電源は専用回路としてください。
- ・ 既設の電源電線、アース線は先端を切断し、図のように加工し直してください。



取扱説明書の裏表紙の保証書に、必要事項を記入の上、この取付説明書と共にお客様に必ず保管していただくように依頼してください。

技術的なご相談は

技術



03-5623-4612

マックス 技術相談窓口

製品についてのお問い合わせは

製品



0120-228-428

マックス 住環境機器お客様相談窓口

ホームページでも受け付けております。

ホームページ

<http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/support.html>



PCサイトが
表示されます

修理のご依頼は

修理



0120-011-408

マックス 修理受付窓口

ホームページでも受け付けております。

ホームページ

<http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/repair.html/>



PCサイトが
表示されます

法定点検のご依頼は

法定点検



0120-017-680

マックス 長期使用製品点検窓口

法定点検とは、長期使用安全点検制度に基づく点検です。

製品に表示されている点検期間に点検を受けるよう、お願いします。

マックス エンジニアリングサービス株式会社